

7 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保存整備等を図るため、北海道・市町村などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

① 建造物

種別	名称	概要等	事業者
重要文化財 (建造物)	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館	<p>【概要】遺愛学院(旧遺愛女学校)本館は、北海道における木造学校建築の代表作の一つとして高い価値があり、明治後期学校建築の指標となる遺構としても重要です。</p> <p>【令和5年度の取組】電気設備及び防災設備工事等を行いました。</p>	学校法人 遺愛学院
重要文化財 (建造物)	大谷派本願寺函館別院	<p>【概要】真宗大谷派函館別院は明治40年(1907年)の函館大火で堂宇を焼失した後に、鉄筋コンクリート造で再建された寺院建築です。</p> <p>鉄筋コンクリート造建築の初期の遺構で、伝統様式を再現した最初の寺院建築として、高い歴史的価値があります。</p> <p>【令和5年度の取組】構造補強及び部分修理を行いました。</p>	真宗大谷派函館別院
重要文化財 (建造物)	ニッカウキスキー余市蒸溜所施設	<p>【概要】ニッカウキスキー余市蒸溜所施設は、竹鶴政孝が創業したウイスキー蒸溜施設で、現在もウイスキーの蒸溜所として使用されています。</p> <p>我が国最初期のウイスキー製造にかかわる施設が一連で残されており、北海道における近代産業遺産として歴史的に価値が高いものとされています。</p> <p>【令和5年度の取組】保存活用計画策定業務及び火災報知設備工事等を行いました。</p>	ニッカウキスキー株式会社
重要文化財 (建造物)	旧日本郵船株式会社小樽支店	<p>【概要】明治39年(1906年)に竣工した石造二階建の建築で、内部の照明器具、暖炉など当初のものがよく残っています。なお、明治39年の樺太国境画定会議はこの建物で行われ、歴史的遺構でもあります。</p> <p>【令和5年度の取組】令和5年度は、石塀の耐震補強等を行いました。</p>	小樽市

重要文化財 (建造物)	北海道庁 旧本庁舎	<p>【概要】明治21年(1888年)に竣工の煉瓦造地上二階地下一階建の官庁建築です。屋根はスレート葺。中央部に八角塔屋を設け、外装は、要所に石材を混用した煉瓦積です。</p> <p>壁面は柱型に二重アーチを造出し二重窓を設けています。内部は明治44年(1911年)改修時の形式で、屋根及びドーム等は当初形式に復原し、我が国における大規模な煉瓦造建造物の初期遺構です。</p> <p>【令和5年度の取組】耐震補強等を行いました。</p>	北海道
----------------	--------------	--	-----



重要文化財「遺愛学院(旧遺愛女学校)本館」(函館市)



重要文化財「大谷派本願寺函館別院本堂」(函館市)



重要文化財「ニッカウキスキー余市蒸溜所施設」(余市町)



重要文化財「日本郵船株式会社小樽支店」(小樽市)



重要文化財「北海道庁旧本庁舎」(札幌市)

② 美術工芸品

種 別	名 称	概 要 等	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之 国勝山館跡 出土品	<p>【概要】北海道上之国勝山館跡出土品は、15～16世紀（室町時代～安土・桃山時代）の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。</p> <p>【令和5年度の取組】保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存修理及び保存箱の製作を行いました。</p>	上ノ国町
重要文化財 (歴史資料)	開拓使文書	<p>【概要】開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、收受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。</p> <p>【令和5年度の取組】平成27年度から令和5年度の9年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行いました。</p>	北海道
美術工芸品	ノリウツギ 採取・加工	<p>【概要】手漉き和紙「宇弥紙」の原料であるノリウツギは、国宝・重要文化財となっている書画や掛軸等の修復に不可欠であります。近年、材料の確保が困難になってきています。</p> <p>【令和5年度の取組】標津町ではノリウツギの採取や試験栽培に取り組んでおり、令和5年度は、森林組合による原料の採取・加工等を行いました。</p>	標津町森 林組合



重要文化財「北海道上之国勝山館跡出土品」（上ノ国町）



重要文化財「開拓使文書」（北海道）



美術工芸品
「ノリウツギ採取・加工」（標津町）

(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種別	名称	概要等	事業者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区	<p>【概要】函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。</p> <p>この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。</p> <p>【令和5年度の取組】古稀庵、黒田家住宅、守屋住宅の修理事業を実施しました。</p>	函館市
重要文化的景観	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	<p>【概要】「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。</p> <p>【令和5年度の取組】追加選定に向けた調査や普及啓発活動を進めました。</p>	平取町



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区「黒田家住宅（左）」、「古稀庵（右）」（函館市）



アイヌの伝統と沙流川流域の文化的景観「チッサンケ（舟下ろしの儀式）」（平取町）

(3) 史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	概 要 等	事 業 者
特別史跡	五稜郭跡	<p>【概要】五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864年)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が融合した特色ある城郭です。</p> <p>【令和5年度の取組】堀内周西側の石垣の保存修理等を行いました。</p>	函館市
史 跡	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	<p>【概要】福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854年)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。</p> <p>【令和5年度の取組】福山城跡の二ノ丸地区で石垣の3次元レーザー計測及びカルテ作成を実施しました。</p>	松前町
史 跡	常呂遺跡	<p>【概要】常呂遺跡は常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は2,700ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。</p> <p>【令和5年度の取組】アイヌ文化期のチャシ跡やオホーツク文化期の住居跡の整備を実施しました。</p>	北見市
史 跡	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	<p>【概要】上之国館跡は15世紀に和人の拠点として設けられた、北海道では数少ない中世城館の変遷がうかがえる史跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】花沢館跡の整備設計や、洲崎館跡で発掘調査を実施しました。</p>	上ノ国町
史 跡	旧島松駅通所	<p>【概要】旧島松駅通所は明治6年札幌本道の開発に伴って設置され、明治以降最も早く設置された主要道沿いの駅通所で、北海道開拓・交通史を伝える史跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】主屋の耐震補強・保存修理の実施設計の検討を行いました。</p>	北広島市
史 跡	鷲ノ木遺跡	<p>【概要】鷲ノ木遺跡は縄文時代後期の大規模な環状列石、竪穴墓域などが発見されており、縄文時代の墓制・祭祀を考える上で重要な遺跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】史跡整備に伴い環状列石周辺の発掘調査を実施しました。</p>	森町

史 跡	キウス周堤墓群	<p>【概要】キウス周堤墓群は、縄文時代後期の集団墓地で、地面を円形に掘りくぼめその土を周囲に環状に積み上げて構築した北海道に固有の墓地遺構です。</p> <p>【令和5年度の取組】史跡整備事業に伴い、ガイダンス施設や展示の実施設計を検討しました。</p>	千歳市
史 跡	ウサクマイ遺跡群	<p>【概要】ウサクマイ遺跡群は、縄文時代・続縄文時代・擦文時代にいたる複合遺跡で、特に擦文文化期には多数の竪穴住居跡や墓などが確認されました。</p> <p>【令和5年度の取組】史跡の安全管理のために枯損木や危険木の伐採を行いました。</p>	千歳市
史 跡	松前氏城跡館城跡	<p>【概要】松前氏城跡館城跡は、松前氏最後の本城で、明治元年に築城された藩の城跡であり、北海道の幕末から維新期を知る上で重要な遺跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】今後の史跡整備のために、御殿と考えられる建物跡の発掘調査を実施しました。</p>	厚沢部町
史 跡	白老仙台藩陣屋跡	<p>【概要】白老仙台藩陣屋跡は、幕末の北方警備のため仙台藩によって築かれた遺跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】史跡整備に先立ち外曲輪土塁や、虎口・馬出土塁の掘割を確認するために発掘調査を実施しました。</p>	白老町
史 跡	旧奥行臼駅通所	<p>【概要】旧奥行臼駅通所は、根室と別海を結ぶ交通の要衝として設置され、北海道開拓を担う駅通制度を知ることができる遺跡です。</p> <p>【令和5年度の取組】奥行臼史跡公園整備基本計画を策定しました。</p>	別海町
史 跡	旧下ヨイチ運上家	<p>【概要】旧下ヨイチ運上家は、嘉永6年（1853年）に蝦夷地経営のために場所請負制度がとられた際に建てられた現存する唯一の運上家です。</p> <p>【令和5年度の取組】保存活用計画の策定に向けて、専門家等による委員会で検討を行いました。</p>	余市町
特別天然記念物	野幌原始林	<p>【概要】野幌原始林は野幌丘陵に所在するトドマツと落葉広葉樹を主体とする針広混交林の原生林で、令和元年に範囲が追加指定されました。</p> <p>【令和5年度の取組】保存活用計画の策定に向けて、専門家等による委員会で検討を行いました。</p>	北広島市



特別史跡「五稜郭跡」(函館市)



史跡「常呂遺跡」(北見市)



史跡「旧島松駅通所」(北広島市)



史跡「鷺ノ木遺跡」(森町)



史跡「松前氏城跡館城跡」(厚沢部町)



史跡「旧下ヨイチ運上家」(余市町)

8 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行い、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえで、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」といいます。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、令和5年度には62,879.209haについて所在調査を、78.865haについて試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工 事 計 画



② 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます。

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています。

【北の遺跡案内】 <https://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/bnh/kitanoisekiannai. html>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合



③ 埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)



④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。
（川や海のそばの高台は特に要注意！）



土器・石器などが落ちていないか
実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑤ 試掘調査（市町村・北海道教育委員会実施）



→ 重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



↓
昔の家（竪穴住居）やお墓の跡があるか調べます。（出土した土器 約 2000 年前のもの）
（中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡）

↓ → 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。

（北海道教育委員会など）

- （1）現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- （2）発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- （3）工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- （4）慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

↓
⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

9 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

市町村教育委員会が主体となり、国庫補助を活用し、開発が予想される地域における埋蔵文化財の所在や範囲の確認、史跡の内容確認、埋蔵文化財を活用した普及公開事業が14件実施されました。

種別	事業名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	各種開発事業に伴う試掘調査を10件行いました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	開発が予想される苫東開発区域内の柏原地区で試掘調査を行い、新たに縄文時代の遺跡2カ所を確認しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	開発が予想される見晴台地区の詳細分布調査を行いました。また、令和4年度に発掘調査を実施した高砂遺跡、元江別9遺跡の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行しました。	江別市
埋蔵文化財	市内遺跡	各種開発事業に伴う試掘調査を4件、令和3年度(2021年度)に発掘調査を実施したユカンボシE1遺跡、令和4年度(2022年度)に発掘調査を実施した島松仲町遺跡の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行しました。また、過去の発掘調査で出土した金属製品の再保存処理を行いました。	恵庭市
埋蔵文化財	町内遺跡	各種開発事業に伴う試掘調査を2件行いました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡上之国館跡のうち花沢館跡と洲崎館跡で史跡内の遺構の確認を目的とした発掘調査を行いました。また、上ノ国漁港遺跡では水中ドローンで海底面を調査し、堆積状況等を確認しました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町内遺跡	シブノツナイ堅穴住居群の遺構の内容確認と、保護を必要とする範囲の確認を目的とした発掘調査を行いました。	湧別町
埋蔵文化財	市内遺跡	各種開発事業に伴う試掘調査を10件行い、新たに縄文時代の遺跡18カ所を確認したほか、1遺跡が範囲拡大、1遺跡が範囲縮小となりました。	千歳市
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡白老仙台藩陣屋跡で、近世の絵図等に示された土塁と堀割の確認を目的とした発掘調査を行い、それらを検出しました。	白老町
埋蔵文化財	町内遺跡	江戸時代の遺跡である美利河2砂金採掘跡について、今後の活用を想定した測量調査を行いました。また、分布調査により町内で新たに4カ所の砂金採掘跡を確認しました。	今金町

種 別	事業名称	事 業 内 容	事 業 者
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡西月ヶ岡遺跡とその周辺でレーザー測量調査を行い、くぼみで残る竪穴住居跡が分布する範囲を確認しました。これらの成果と過去の調査結果と合わせて発掘調査報告書を刊行しました。	根 室 市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	北海道の縄文文化を解説するセミナー及び出土品やレプリカを展示する北の縄文展を札幌市、北斗市で開催し、パネル展を苫小牧市ほかで4回開催しました。また、縄文時代の暮らしを解説する動画を作成し、それを使用した出前講座を10カ所で実施しました。	北 海 道
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	黒曜石の産地であることを活かし、石器づくり等の体験学習会や施設見学会等を開催しました。また、町内の学校やイベント会場での黒曜石アクセサリーづくり等の出前体験教室を行いました。	遠 軽 町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	史跡北黄金貝塚にちなんだ子ども向けのワークショップやパンフレット等の作成、一般市民向けのシンポジウム、地域住民を対象とした遺跡ガイド養成講座を実施しました。また、ボランティア団体によるガイド及び体験学習を実施しました。	伊 達 市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	発掘調査に町外の大学生が参加し、人材育成を行いました。また、戦国水運体験、鋳造体験や町内の3課か所の史跡で重ね捺しスタンプラリーなどを行いました。また、パンフレットを作成しました。	上ノ国町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	子ども向けの体験講座、市内の縄文遺跡の見学会、市民向けの公開講座を実施しました。また、企画展示を行った他、史跡キウス周堤墓群や美々貝塚のパンフレット等の広報資料を作成しました。	千 歳 市



美利河 2 砂金採掘跡 (今金町)



北の縄文展 2024in チ・カ・ホ (北海道)

10 発掘調査

令和5年度は北海道内41件、15,190㎡の発掘調査が実施されました。調査主体別の内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	面積(㎡)
市町村教育委員会	25件	10,421
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	5件	3,784
大学・博物館等	11件	985
合計	41件	15,190

また、令和5年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の概要については、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

- ・「市町村における発掘調査の概要」のページ

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/150973.html>



大船G遺跡(函館市)